

2020 年度都市住宅学会賞

著作賞・論文賞・論説賞・研究奨励賞の受賞者及び受賞対象

【論文賞】

藤澤美恵子

「住環境が子どもの心身と行動に及ぼす影響 —21 世紀出生児縦断調査データ分析—」

(都市住宅学 99 号、2017 年 10 月、154～160 頁)

講 評

本研究は、厚生労働省の「21 世紀出生児縦断調査」というビッグデータの精緻な分析により、これまで論じられてきた子どもの育成と住環境の関連性について、過去の研究成果の検証も含め、客観性の高い有益な知見を得ている。例えば、戸建住宅や持ち家住宅の変数が学習時間を減少させること。所在階数と子どもの外出行動や健康問題との関係は先行研究とは逆の結果が得られ、未就学児への影響は小学生低学年では薄れること。子どもにとっては周辺住環境などの大きな空間でなく、子供部屋のような自分の身近な空間が重要な意味を持つことなどの結果を得ている。また、その他の因果関係については、先行研究と同一の傾向を示したものと一致しないものを確認している。

以上より、本事業は当学会の論文賞にふさわしいと認められる。

